

令和2年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動関係者研修会 (離島地区：対馬市) 概要

- 1 日時 ①令和2年10月27日(火) 13:30~16:30
②令和2年10月28日(水) 13:30~16:30
- 2 会場 ①対馬市 峰地区公民館 講堂
②対馬市交流センター 大会議室
- 3 参加者 計70名

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進するために、子どもの育成に携わる地域と学校の関係者が一堂に会し、講義や実践発表、グループ協議を通して、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について理解し、実践につなげることをねらいとして実施しました。

4 内容

- (1) 講義 ①「コミュニティ・スクールについて」
長崎県教育庁義務教育課
②「地域学校協働活動と地域学校協働本部について」
長崎県教育庁生涯学習課
- (2) 実践発表 「西海市立大瀬戸小学校 コミュニティ・スクールの実践」
西海市立大瀬戸小学校学校運営協議会
事務局 竹口 健一郎 氏

実践発表では、『『学びの出口を地域につくる』～地域・学校を活性化させるのは人だ～』と題して、「CS3年間のあゆみ」「CSを運営していくにあたって大切にしていること」「成果と課題」等についてお話いただきました。

参加者からは、「発足の頃の取組が分かり、参考になりました。」「具体的な実践は説得力があり、実働に向けたヒントをいただけました。」「地域の人が変わったというのが、とても印象的でした。」などの感想が寄せられました。



(3) グループ協議

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を進めていくためには、まずは、学校運営協議会(学校支援会議)等で、地域と学校が子どもを育てる共通の目標(目指す子ども像)を共有することが大切です。そこで今回、地域関係者と学校関係者がグループ協議により、地域と学校が連携・協働できることについて考えていただきました。

参加者からは、「このやり方は、いいですね。とてもいい方法のグループ協議だと思いました。」「地域と学校から選ばれた人の研修会があればいいとずっと思っていたので、付箋紙を利用して協議できたことは収穫です。」「こういった方法をきっかけに、学校と地域が繋がればと思いました。」などの感想が寄せられました。

